



外国文献紹介

偶発性低体温症の患者が急性膵炎を発症する危険因子について

Inoue H et al : Risk factors for acute pancreatitis in patients with accidental hypothermia. Am J Emerg Med 37 : 189-193, 2019

筆者らは、低体温症で入院した 138 例について後ろ向き調査を行い、偶発性低体温症の患者が急性膵炎を発症する危険因子と因果関係について検討した。その結果、70 例 (51%) で血清アミラーゼ値の上昇が認められた。急性膵炎の診断には、臨床所見、膵酵素値のほか腹部超音波検査、CT あるいは MRI を用いた。急性膵炎を発症した群の来院時の中心体温は、急性膵炎を発症しなかった群の中心体温と比べて、有意に低い値を示していた。そして、低体温症の患者で来院時の中心体温が 28.5℃ 未満の場合には、急性膵炎を発症する可能性が高いので、注意深く経過観察する必要があると述べている。

瀬戸一彦